〇名古屋石田学園【第５次中期経営計画（2021～2025）学園基本方針】

１．建学の精神

建学の精神　　彼我一体
- 報謝の至誠
- 文化の創造
- 世界観の確立

２．学園経営理念

経営理念

私たちは、建学の精神の下、弛まぬ研鑽と人財育成を礎とした教育事業を通し、在学生・教職員・保護者・地域など関わる全ての人々の幸福に寄与します。

（礼節と感謝）
共に働く人々と支えてくれる人々への礼をつくし、共に教育の場を発展させます。

（努力と教育の創造）
教育・研究への挑戦と開発と改善により、社会に価値を提供することを学園の存在意義とします。

（自己の確立）
共に学び続け、自己成長・自己実現を目指し、学び舎を学生・生徒とともに創り上げます。

・経営理念の４つの文言の主語は「私たちは」です。「私たち」とは名古屋石田学園で働く教職員全員を示します。また一方、これら４つの文言は創立者が目指し歩んだ道筋でもあります。私たちは創立者と想いを重ねて共に歩み、関わる全ての人々の幸せに寄与にすることを目指します。

（１）礼節と感謝

私たちは一緒に働く同僚のみならず、学生・生徒・保護者・卒業生・協力企業・地域など私たちを取り巻くあらゆる人々に支えられ、生かされています。これらの人々は学園の宝です。創立者がそうであったように、私たちはこれらの人々への感謝を決して忘れることなく共に力を合わせて、学びの場をより良いものにしていきます。

（２）努力と教育の創造

創立者は主体的に学び成長する学生・生徒を育成することを目的・目標としていました。私たちは、教育事業を通して他の模倣でないより良い価値（幸せ）を希求し創造することで、私たちを取り巻く人々に貢献することを使命としていきます。

（３）自己の確立

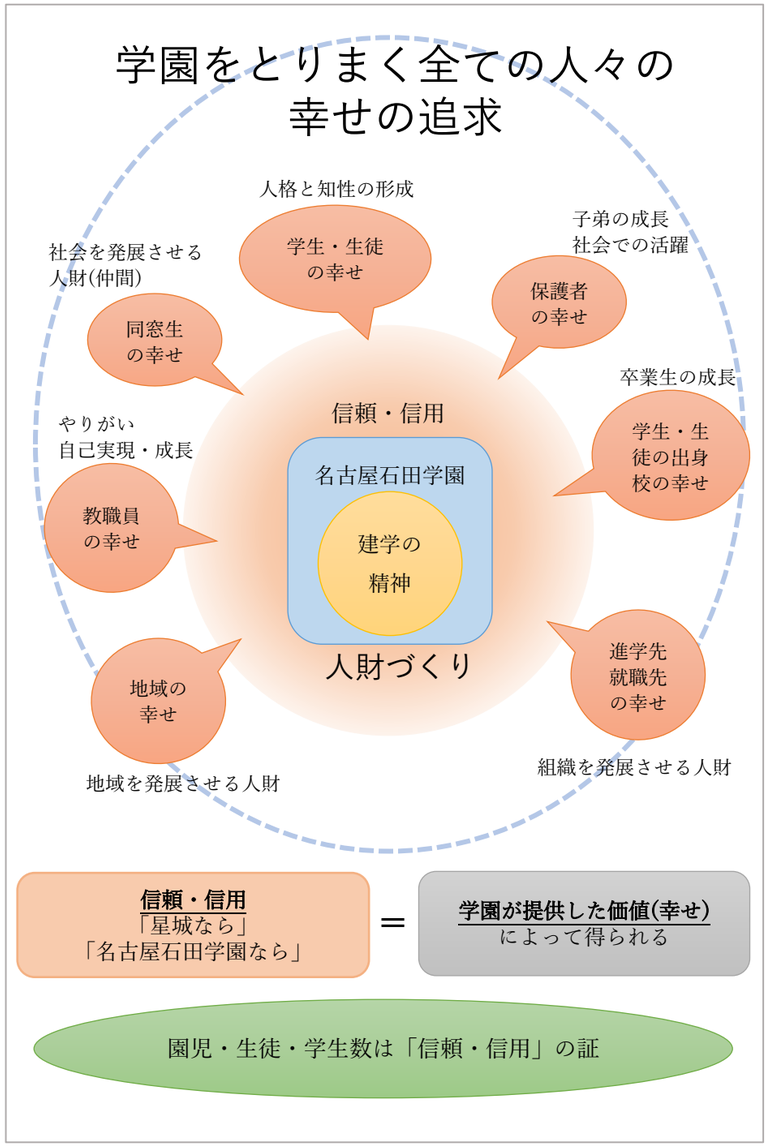
創立者は自己研鑽を怠らず学園の基盤を創り上げました。教育事業を通して共に学び続け、私たち自身が自己を確立し、また、成長して夢を実現することで、学生・生徒の成長を共に喜べる仲間がいる学び舎を創っていきます。

行動指針：　「学生・生徒の成長と幸せ」＝「私たちの幸せ」

・私たちは、学生・生徒の成長と幸せを自分事と捉え行動していきます。

３．2025 年までに目指す姿

・学園は、学園が提供することのできた価値（幸せ）によって社会からの信頼と信用を得て、その結果として社会に支持され発展します。これまでの学園 80 年の歴史の中で学園が培ってきた「信頼と信用」をさらに強固なものとするとともに、学園を含めた関わる全てを「ＯＮＥ星城」と捉え、星城が目指す原点「人財づくり（＝人材育成）」を軸として、成長と幸せの追求ができる学園を目指します。



４．2025 年ビジョン「信頼と信用の人財づくり学園」

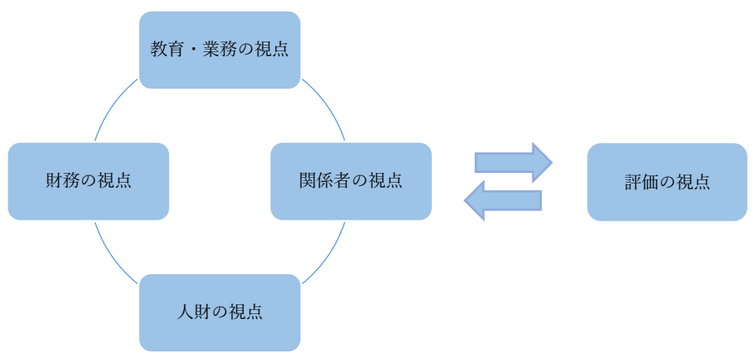
・【原点回帰】を再度見つめ直し、2025 年までの５年間を、教育の質の向上を通して「人財づくりへの信頼と信用」を獲得する年とします。2025 年～2030 年の飛躍のための学園の基盤を構築します。

ビジョン　「信頼と信用の人財づくり学園」
- 教職員と組織を育てる学園
- 学園をとりまく全ての人々の成長と幸せの追求ができる学園
- 学生・生徒の「人格」と「知性」を育む学園
- 変化し続ける学園

５．2025 年ビジョンへ向けての大きな道筋（戦略）

建学の精神の具現化（５つの柱）

① 建学の精神に基づく特色創り
② 学びの成果の追求と教育の質の向上の具体化と実現
③ やりがいのある職場づくりと、教職員の資質・教育力の向上
④ 関わる人々との連携・協働と満足度の追及
⑤ 学園の財務の安定・強化と発展戦略の構想と計画化

６．第５次中期計画の５つの視点（■推奨　□検討）

A 教育・業務の視点	C 関係者の視点
■教育の質の充実・向上 （人格教育、知性教育） ■中途退学者の削減 □教育・業務の体系・体制の見直し □教育・業務の環境の整備・向上	□進学先、就職先の充実 □同窓会・後援会等の強化・連携 □産学連携・地域連携の強化
B 人財の視点	**D 財務の視点**
■自校教育の推進（教職員向け） □計画的人事採用、中期的要員計画 □計画的な人材育成の強化と業務の汎用化 □教職員アンケートによる満足度向上	■総学徒数（定員）の確保・安定維持 ■部門毎の入学者数確保 □高大接続・高専接続の強化 ■（学園の発展戦略の構想と計画化）
	E 評価の視点
	■関係者向けアンケートによる満足度向上（学生・生徒、卒業生、保護者、就職先、他）